

## WT1 と代謝酵素の PPI を標的とした癌分子標的治療

大阪大学大学院医学系研究科・機能診断科学講座

尾路 祐介

白血病や様々な固形癌で過剰発現する WT1 タンパクが代謝酵素と直接結合しその活性を増強することで腫瘍細胞の生存に重要な役割を果たすことを明らかにしてきた。本課題では、WT1 タンパクと代謝酵素の結合には複数の領域が関与していることを明らかにし、これらの WT1 タンパク-代謝酵素間結合の阻害化合物を複数同定した。これらの成果は今後 WT1 を標的とする新たな分子標的治療法の開発を進めるうえで重要な基盤となる。